

# 尾高城史略年表

時代区分	西暦	年号	尾高城・中国関係	日本の動向
室町時代	1337	建武 4		山名時氏、伯耆の守護職となる
	1467	応仁 1	応仁の乱、山名、細川の争い始まる	
	1470	文明 2	尼子清定、伯耆へ侵入、山名方、南條名和氏らと戦(出雲私史)	
	1479	文明 11	尼子経久家督相続	
	1515	永正 12	外構城の山名幸松弥次郎、大曾祢氏を討伐(宇田川神社棟札)	
	1518	永正 15	尼子経久、尾高の行松氏、羽衣石南條氏を攻撃(出雲私史)	
	1521	大永 1		足利吉晴將軍職に就く
	1523	大永 3	毛利元就家督相続	
	1524	大永 4	大永の五月崩れ 尼子経久伯耆へ侵入 尾高行松正盛流浪 尼子方吉田光倫在番(伯耆民諺記)	
	1540	天文 9	尼子晴久 安芸侵入の毛利郡山城攻め	
	1541	天文 10		武田晴信家督相続
	1542	天文 11	大内義隆出雲へ出兵	
	1543	天文 12	尼子晴久 瑞仙寺領安堵(瑞仙寺文書)	鉄砲伝来
	1548	天文 17		長尾景虎家督相続
	1549	天文 18		フランシスコザビエル日本上陸
	1551	天文 20	大内氏陶晴賢により滅亡	
	1553	天文 22		第1次川中島の戦い
	1554	天文 23	尼子晴久 新宮党の国久父子を滅する	
	1555	弘治 1	陶氏、毛利元就により厳島で滅亡	
	1557	弘治 3	杉原盛重 神辺城主となる	
	1560	永禄 3		桶狭間にて織田軍が今川軍を破る
	1562	永禄 5	行松正盛、毛利氏の武威により尾高城回復	義元落命
	1563	永禄 6	尼子、河岡城攻め、毛利、杉原らを援軍派遣 行松正盛病死、杉原盛重尾高城入城 弓ヶ浜合戦	
1564	永禄 7	杉原盛重 天満山城攻略	第5次川中島の戦い	
1565	永禄 8	杉原盛重 江尾城峰須賀右衛門尉を攻略(芸陽記)	松永久秀 足利義輝を暗殺	
1566	永禄 9	杉原盛重 伯耆瑞仙寺の寺領を安堵(瑞仙寺文書) 月山開城 毛利元就、富田城尼子義久攻略		
1567	永禄 10	杉原盛重 田中若干代に比江津神主職を預け置く(蚊屋嶋神社文書)	信長も稲葉山城を落とし岐阜とし本拠移転	
1568	永禄 11		織田信長 足利義昭を奉じて入洛	
1568	永禄 11	毛利の四国長曾我部出兵 毛利の九州大友 杉原以下伯耆の武士も従軍		
1569	永禄 12	尼子回復戦 山中鹿介ら隠岐から松江末次城へ(陰徳太平記) 大山寺教悟院ら味方し尾高城陥落		
1570	元亀 1	布部の合戦	石山本願寺 信長に対して挙兵	
1571	元亀 2	浄満原・宇田川・米子城・日吉津の合戦 山中鹿介を末石城で捕虜とする	信長軍比叡山焼き討ち 毛利元就死去	
1573	天正 1	杉原盛重 光源院に足利義輝の焼香料として、伯耆興恩寺を寄進 (光源院文書)	武田信玄、上洛途中で病死する 越前朝倉氏 織田信長により滅亡	
安土桃山時代	1575	天正 3	吉川元春のもとで因幡の山名豊国を攻める 中書家久公御上京日記に「緒高といへる城有」の記述	長曾我部氏、土佐を統一 足利義家 信長に降り足利幕府滅亡
	1576	天正 4		織田信長 安土城築城をはじめ
	1578	天正 6	尼子勝久 播磨上月城で敗死 山中鹿介も殺される	上杉謙信病死す
	1581	天正 9	杉原盛重 伯耆久古庄を大山寺西明院に寄進(大山寺文書) 秀吉の鳥取城攻めで落城、吉川経家自刃(吉川家文書) 杉原盛重八橋城にて卒す(伯耆民談記)	
	1582	天正 10	佐陀の杉原影盛、尾高の元盛を謀殺 毛利輝元これを討たせ、 影盛を平田にて斬る(陰徳太平記)	本能寺の変 織田信長落命
	1583	天正 11	吉田元重 尾高城に在番	
	1585	天正 13	豊臣側の東伯耆の南條元統が香原山城を攻め落とす	秀吉 大阪城に入る
	1590	天正 18		小田原城落城 北条氏政切腹
	1591	天正 19	吉川広家、東出雲西伯耆隠岐の領主となる	朝鮮へ渡海を命ず(文禄の役の開始)
	1598	慶長 3		豊臣秀吉死す
1600	慶長 5		関が原の戦いで東軍勝利	
1601	慶長 6	中村一忠 静岡から転封 尾高城に入城		
1603	慶長 8	しばらくして、米子城へ移る 尾高城廃城	徳川家康征夷大將軍となる	